

地域の無火災を願って 火災予防啓発パレード



11月10日、婦人火災予防組合による火災予防啓発パレードが行われました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、山内庁舎で出発式が行われた後、婦人火災予防組合15人、女性消防団5人が、拍子木に合わせ声高らかに「火の用心」と発声しながら板井沢、皿木地区をパレードし、地区住民に無火災を呼びかけました。



実りの秋 山内にんじん収穫体験

11月6日、横手城南高校の生徒と相愛こども園の園児たちが三又地区で山内にんじんの収穫体験をしました。これは三又地区の生産者の方々のご協力により実現したもので、当日は天候にも恵まれ、参加した生徒・園児は大きく実った山内にんじんに大きな声をあげて喜んでいました。



冬本番に備えて 除雪安全祈願祭

11月15日、山内地域局道路管理センターで除雪作業の安全祈願を行い、いつでも出動できる体制に入りました。

山内地域局管轄道路50.5kmを直営・委託合わせて17台の除雪車で除雪作業を行います。



●除雪車出動基準（午前1時から午前2時までの間に観測）

- ① 前日午後5時からの降雪量が10cm以上の場合
- ② 降雪量が5cm程度でも明け方までに10cm以上になると予想される場合
- ③ 吹き溜まりの発生や圧雪、路面の状態により必要と判断される場合

※3月は基準が15cmに引き上がります。

～流雪溝利用ルール～

流雪溝のふたを開けたまま放置すると、歩行者が転落する恐れがあります。また、雪の塊をそのまま入れると、流雪溝がつまり浸水被害につながる恐れがあります。

- ・放流時間を確認し、作業時間を守る
- ・転落防止柵を必ず取り付ける
- ・水が流れていないときは雪を入れない
- ・雪は小さく刻んで入れる
- ・屋根から直接入れない
- ・子供を近づけない

雪下ろし安全10か条

～除雪作業中の事故に注意～

- ・安全な装備で行う（最重要！！）
命綱とヘルメットを装着しよう
- ・はしごの固定を忘れずに
- ・除雪作業は家族、隣近所に声をかけて2人以上で行う
- ・雪下ろしは建物周りに雪を残し、雪下ろし後に排雪する
- ・晴れの日には屋根の雪がゆるむので要注意！
- ・屋根からの落雪に注意！
- ・除雪機の雪詰まり除去時はエンジンを必ず切ってから
- ・命綱、除雪機など用具はこまめに点検
- ・作業の時は携帯電話を必ず身につける
- ・無理は絶対にしない

